

第1回

# 東欧ユダヤ音楽ワークショップ



Yiddish Autumn Tokyo 2016

2016年11月18日(金)～20日(日)

この秋、あなたも**"本物のクレズマー"**に出逢う。

あの**"Yiddish Summer Weimar"**がいよいよ今秋東京に上陸！！  
クレズマー界きっての巨匠による、日本初の本格的クレズマー音楽ワークショップ！！



**会場：ギャラリーX** (カイ) (墨田区・両国シティコア2階・裏面地図参照)

**日程：2016年11月18日(金)～20日(日)** 各日 10:30～17:45 (裏面「日程と時間割」参照)

◆3日間で一通りのワークショップです。一日単位で参加されたい方はお問い合わせください。

**講師：アラン・バーン** (アコーディオン、ピアノ)、**マーク・コヴナツキー** (ヴァイオリン、ダンス)  
**吉田佐由美** (ダンス)

【対象】プロ演奏家、音大生、アマチュア演奏家、舞踏家、その他関心のある方

【定員】30名程度 (先着順)

【参加費】一般 ¥12,000 (全3日間。早期割引あり※) 学生 ¥7,000 (各費用は予定、詳細は後日決定。)

※9月15日までにご予約の場合 ¥1,000 割引 (一般のみ) ◆参加費はワークショップ初日に受付にてご精算頂きます (現金のみ)。

## 「世界で最も真面目で充実したクレズマー・ワークショップ」

**Yiddish Summer Weimar (YSW)** は、1999年の夏に、European Summer Academy によるワークショップの一部門として、アラン・バーン博士が率いるクレズマー・バンド Brave Old World のメンバー 5 名がわずか 1 週間のイディッシュ音楽に関するワークショップを担当したことから始まりました。このワークショップが好評を博し、翌年からはイディッシュ音楽 (クレズマー音楽) に特化したワークショップが毎年夏にワイマールにて開催されることとなります。YSW では、単なる演奏技術の指導に終わるのではなく、イディッシュ音楽に関わる背景文化や歴史、さらにはロマやギリシャなどの周辺地域の音楽文化・舞踏文化も視野に入れつつ、常に新たな切り口から「生きた文化遺産」としてのイディッシュ音楽の現在形を追求してきました。このユニークな取り組みが評価され、現在では「世界で最も真面目で充実したクレズマー・ワークショップ」として世界中のクレズマー演奏家から絶大な支持を得ています。

本年 11 月、17 年間にわたり YSW を統括してきたアラン・バーン博士と選りすぐりの講師を招聘し、YSW 方式によるイディッシュ音楽のワークショップを東京にて開催します。ホロコーストを経てもなお新たな生命を紡ぎ続ける「イディッシュ文化」に音楽とダンスからアプローチする、またとないチャンスです。

## 「ダンス」+「ダンス曲」で体得

東欧ユダヤ人が親しんだクレズマー音楽は、そのレパートリーの多くがダンス曲で占められています。祝祭時や結婚式の各場面ではそれぞれ意味のこめられたダンスがクレズマー楽師の演奏で踊られました。したがってクレズマー楽師は旋律だけでなく各種のダンスにも通曉していなければなりません。優れたクレズマー楽師は、同時に優れたダンサーでもあったとされています。クレズマー音楽を理解するには、楽曲だけでなく、これらのダンスを同時に理解する必要があります。「ダンス」と「ダンス曲」は表裏一体のものなのです。

## 世界トップクラスの講師陣による直伝！

このワークショップでは、世界の第一線で活躍する演奏家と舞踏家を海外から招聘し、クレズマー音楽とイディッシュ・ダンスの基礎を集中的に学びます。主にクレズマー音楽に高い関心をお持ちの演奏家や舞踏家、音大生の皆さんを対象に、「ホラ」や「ブルガール」、「フレイラッハ」など、特に親しまれたダンスのステップ、拍子、テンポ、ノリなどを、実践を通して体得した上で、それぞれのダンス曲の演奏にも挑戦します。

◆日本では滅多に得られないこの貴重な機会に、ぜひ奮ってご参加ください！◆

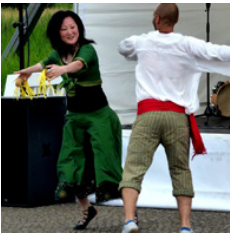
お申込み方法は裏面をご覧ください。



**アラン・バーン** Dr. Alan Bern (ピアノ、アコーディオン)  
演奏家、作曲家、音楽学博士。2000年から毎年ドイツ・ヴァイマルで開催されている東欧ユダヤ音楽のワークショップ“Yiddish Summer Weimar”の主宰者としてイディッシュ音楽文化の教育普及に尽力。1970年代の米国でのクレズマー・リバイバルに尽力した中心の人物の一人。クレズマー音楽の伝統を現代に蘇らせたグループ“Brave Old World”のリーダーとして、若い世代に多大な影響を与えている。また“The Other Europeans”ではクレズマー音楽とロマ音楽の融合を目指し、その活動は高い評価を得ている。これらの功績が称えられ2016年のヴァイマル賞を受賞。クラシック、ジャズなどの他分野の演奏家との共演も多く、イツァーク・パールマン、現代音楽のジョン・ケージとも共演。2006年以後の来日。



**マーク・コヴナツキー** Mark Kovnatskiy (ヴァイオリン、イディッシュ・ダンス)  
演奏家、作曲家、舞踏家。“Yiddish Festival Moscow”のディレクターとしてイディッシュ音楽の教育普及に尽力するほか、“Hamburg Klezmer Band”のリーダーを務める。そのほか“European World Music Ensemble”、“Semer Label Project”、“Joel Rubin Ensemble”等で共演。近年は“Yiddish Summer Weimar”の講師も務めている。高度に芸術的な水準で演奏される彼の伝統的イディッシュ音楽は世界中で高い評価を得ている。居合道を嗜む親日家でもある。



**吉田佐由美** Sayumi Yoshida (イディッシュ・ダンス)  
1987年よりドイツ・ベルリン在住。1989年よりイディッシュ・ダンスをMichael Alpert, Walter Zev Feldman, Sue Foy, Erik Bendix, Steven Weintraubら世界的なイディッシュ・ダンサー、クレズマー演奏家に師事。伝統的なイディッシュ・ダンスに精通する唯一の日本人指導者。“Yiddish Summer Weimar”のダンス講師を務めるほか、南イタリアのダンス「タランテラ」のダンサーとしても活動。これまでに大阪大学大学院文学研究科特別講義、神戸ユダヤ文化研究会主催のダンス・ワークショップ、「音楽家のためのイディッシュ・ダンス・ワークショップ」などで指導。



**コーディネーター：樋上千寿** Chitoshi Hinoue (クラリネット)  
美術史家、演奏家。西洋美術史とユダヤ文化史を専攻。幼少よりピアノを習得、高校吹奏楽部でクラリネットを習得。大学院在学中に東欧ユダヤ系芸術家マルク・シャガールの作品解釈を進める中で、彼が描く「屋根の上のヴァイオリン弾き」はどんな旋律を奏でていたのか、という疑問が湧く。追究の途上でクレズマー音楽に出逢い2003年4月に「オルケステル・ドレイデル」を結成、クレズマー音楽の研究と習得、紹介に努めている。2005年から毎年Yiddish Summer Weimarに参加し、Dr. Alan Bern, Walter Zev Feldman, Frank London, Joel Rubinらクレズマー演奏家や、Marin Buneaらロマ演奏家の指導を受けてきた。2007年から京都と東京で主催公演を開催。そのほか美術館主催のシャガール展関連イベントでの依頼演奏や、大学、学会主催のレクチャー・コンサートにも多数出演。これまでに2枚のCD「Shpil, Dreydel!!」[Mazl Tov! (おめでと!)]をリリース。著書に『ああ、誰がシャガールを理解したのでしょうか?』(共著、大阪大学出版会、2011年、オルケステル・ドレイデルの演奏によるCD「クレズマー音楽」付属)など。現在、京都造形芸術大学講師。

日程と時間割

	10:30~12:30 途中小休憩あり		13:30~14:45	15:00~16:15	16:30~17:45
11/18 (金)	受付 (~11:00) 導入、講師によるデモ演奏	昼 休 憩	ダンス音楽と「ティッシュ・ニゲン」	クレズマー音楽 「ホラ」	イディッシュ・ダンス 「ホラ」
11/19 (土)	クレズマー音楽 「フレイラハス」		イディッシュ・ダンス 「フレイラハス」	クレズマー音楽 「ブルガール」	イディッシュ・ダンス 「ブルガール」
11/20 (日)	クレズマー音楽 「シエアー」		イディッシュ・ダンス 「シエアー」	おさらい	「ニゲン」(歌)

※最終日の「公開セッション」は、ワークショップ参加者以外の方も参加できます(無料)。  
◎授業は英語または日本語で行われます。英語の場合はサポート・スタッフによる日本語通訳が付きます。  
サポート・スタッフ：アンナ・グラデュコヴァ (東京大学大学院)、三代真理子 (東京藝術大学)

関連演奏会：東欧ユダヤ音楽・クレズマー演奏会「シャガールが愛した、故郷の旋律」Vol.10

2016年 11月17日(木) 18:00 ~ (予定) @劇場 シアターX(カイ) 参加費 ¥1,000 高校生 ¥500

出演：オルケステル・ドレイデル (樋上千寿 =Cl. アンナ・グラデュコヴァ =Vl. 松本みさこ、三代真理子 =Acc. 高橋延吉 =D.)

ゲスト出演：アラン・バーン =Acc.&Pf. マーク・コヴナツキー =Vl.

ワークショップ参加のお申込み&お問い合わせ

E-mail: smile-chitoshi@sings.jp = 樋上千寿 (ひのうえ ちとし) または  
電話・FAX: 075-464-3047 / 携帯: 070-6682-4691 (樋上) まで  
氏名・担当楽器 (プロ/アマ/学生または舞踏家その他の別) を明記ください。  
☆参加費はワークショップ初日に受付にてご精算頂きます (※現金のみ)。

◎公式ホームページ「Yiddish Autumn Tokyo 2016」で検索 QRコード⇒  
<http://smile-chitoshi.wix.com/yiddishtokyo>



【アクセス】JR 総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約3分。  
都営地下鉄大江戸線両国駅 A4・A5 出口から徒歩約8分。  
両国シテイクア2階。Tel: 03-5624-1181 (シアターX)

主催：京都造形芸術大学 (樋上) +シアターX (カイ)  
助成：JSPS 科研費 15K02205 後援：NPO 法人イディッシュ文化振興協会